

国際会計研究学会

第30回研究大会

2013年(平成25年)
9月13日(金)・14日(土)・15日(日)

中央大学後楽園キャンパス
(東京都文京区春日1-13-7)

日 程	
9月13日(金)	学会賞審査委員会 理事会
9月14日(土)	会員総会 研究グループ報告 記念講演 懇親会
9月15日(日)	自由論題報告 統一論題報告及び討論会



▲中央大学多摩キャンパス

出所:中央大学「白門フォト」より

国際会計研究学会 第30回研究大会準備委員会

委員長 北村 敬子
委 員 間島 進吾
上野 清貴
中村 英敏

お問い合わせ先

〒192-0393 東京都八王子市東中野742-1
中央大学商学部 上野清貴研究室内
Tel 042-674-3598

国際会計研究学会

会 員 各 位

ご挨拶

国際会計研究学会第30回研究大会

大会テーマ

グローバル社会の会計研究

会員の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さてこのたび、中央大学後楽園キャンパスにおきまして、国際会計研究学会第30回研究大会を開催させていただくことになりました。第30回という節目の大会を本学で開催できますことを、大変光栄に思っております。

ご承知のように、現代のグローバル社会におきまして、国際会計研究がますます重要となってきております。これに関しまして、これまでIFRS等の会計基準研究が中心となっておりましたが、ここで立ち止まって、改めて現代社会における会計研究の方法を問い直す時期が来ているような気がいたします。つまり、現代のグローバル社会において会計研究はどうあるべきかを改めて考える必要性があると感じております。

そこで、本大会の総合テーマを「グローバル社会の会計研究」とさせていただき、本大会の統一論題も同様とさせていただきます。そこにおきまして、会計研究の今後のあり方を検討することになっております。本大会のご報告および議論を通じて、今後、国際会計研究がなおいっそう発展することを願っております。

本大会はさらに、新しい試みとして自由論題報告の枠内で「韓国セッション」を設けました。韓国から3名の気鋭の先生方が来られ、国際会計に関する貴重なご報告が予定されています。これは、韓国国際会計学会との交流の一環として設けられたものであり、別に両学会の共同プロジェクトも進行しております。両学会の今後の国際的発展が期待されます。

そのほか、研究グループ報告や記念講演も予定しており、充実した内容となっております。多くの会員の皆様のご参加を、準備委員一同心よりお待ちしております。

国際会計研究学会第30回研究大会準備委員会

9月13日(金)

14:30-15:30	学会賞審査委員会(6号館6309教室)
15:30-17:30	理事会(6号館6301教室)

9月14日(土)

会場 5号館5533教室

13:00-14:00	会員総会
14:30-16:00	研究グループ報告 (1)「配当財源決定メカニズムの 国際的動向」(最終報告) 主査 吉岡正道(東京理科大学) 司会 大下勇二(法政大学) (2)「IFRSにおける資産会計の総 合的検討」(中間報告) 主査 菊谷正人(法政大学) 司会 河崎照行(甲南大学)
各報告とも 報告30分 質疑15分	
16:15-17:15	記念講演 「IFRS採用に向けての課題と想定さ れるロードマップ」 講演 藤沼亜起(中央大学) 司会 間島進吾(中央大学)
17:30-19:30	懇親会(会場 5号館地下1階食堂)

9月15日(日)

自由論題(各報告とも報告25分・質疑10分)

第1会場 6号館6317教室

10:00-10:35	司会 向伊知郎(愛知学院大学) (1)「監査の質とその測定方法に関する 一考察—米国文献を中心として—」 報告 胡 丹(名古屋大学)
10:40-11:15	(2)「The Impacts of R&D Expense on Company Performance: a Comparison Based on Listed Companies of Technique Intensive Industry in China and Japan」 報告 曹 昱(西南财经大学)
11:20-11:55	(3)「IFRSの金融負債規定に関する考察」 報告 安井一浩(神戸学院大学)

第2会場 6号館6318教室

10:00-10:35	司会 石井 明(上武大学) (1)「IFRSの導入に関する財務報告 利用者及び作成者のギャップにつ いて」 報告 橋本 尚(代表) (青山学院大学)
10:40-11:15	(2)「人的資本の本質と『使用権』に基 づく新しい認識アプローチの探究」 報告 島永和幸(神戸学院大学)
11:20-11:55	(3)「統合報告フレームワークにおけ る資本とビジネスモデルに関する 考察」 報告 戸田統久(近畿大学)

第3会場(韓国セッション) 6号館6310教室	
10:00-10:35	司会 藤井秀樹(京都大学) (1)「IFRS Adoption and Financial Statement Readability: Korean Evidence」 報告 Jang, Min-ho, No, Jun-hwa (Chungnam National University)
10:40-11:15	(2)「The Effects of Mandatory IFRS adoption on Earnings Quality of Korean Firms」 報告 Lee, Sang-no (Chunpook National University)
11:20-11:55	(3)「A Study on the Concept of Accountability in the New Conceptual Framework developed by IASB and FASB」 報告 Kim, Jungmin (Keimyung University)
第4会場(院生セッション) 6号館6309教室	
9:20-9:55	司会 郡司 健(大阪学院大学) (1)「公正価値会計とその諸概念の検討」 報告 高坂紀広 (中央大学大学院生)
10:00-10:35	(2)「アメリカにおける中小企業会計基準と概念フレームワークに関する研究」 報告 朱 愷雯 (近畿大学大学院生)
10:40-11:15	司会 黒川保美(専修大学) (3)「為替予約を用いたヘッジ会計—利益概念からの検討—」 報告 李 焱 (横浜国立大学大学院生)
11:20-11:55	(4)「米国のIFRSの導入における現状の分析—コンドースメント・アプローチを手掛かりとして—」 報告 為房 牧 (青山学院大学大学院生)

統一論題	
グローバル社会の会計研究	
5号館5533教室	
13:10-14:10	座長 上野清貴(中央大学) 報 告 (1)「会計基準の比較分析—その貢献と限界—」 米山正樹(東京大学) (2)「『単一の高品質でグローバルな会計基準』の存立基盤—基準設定と会計研究—」 杉本徳栄(関西学院大学)
<休憩20分>	
14:30-15:30	(3)「日本企業の配当行動と特別損益の関係性—グローバル社会における実証研究の役割—」 加賀谷哲之(一橋大学) (4)「会計制度に対する会計研究の役割」 齋藤真哉(横浜国立大学)
<休憩30分>	
16:00-17:30	討論会

会場へのアクセス

(1) 大会参加費等は以下のとおりとなっております。

- ①参加費 3,000円(非会員5,000円)
②懇親会費 4,000円(当日5,000円)
③弁当代 1,000円(9月15日(日)の昼食分・当日申込不可)

(2) ご参加の方は同封の「払込取扱票」で8月30日(金)までにお振り込みください

口座番号 00180-1-322823

口座名称 国際会計研究学会第30回大会準備委員会
大会・懇親会へのご参加は、お振り込みをもって確認させていただきます。なお、準備の都合上、振込期日の厳守をお願いいたします。

また、大会参加費等の領収書につきましては、「振替払込請求書兼領収書」にて代えさせていただきます。大会当日は、念のため「振替払込請求書兼領収書」(またはその写し)をご持参ください。

なお、お振り込みいただいた金額につきましては払い戻しをいたしませんので、ご了承ください。

(3) 大会当日の昼食につきまして、9月14日(土)・15日(日)ともに学内の食堂は営業しておりません。15日につきましては上記のお弁当を事前にお申込みいただくか、大学周辺の飲食店をご利用ください。

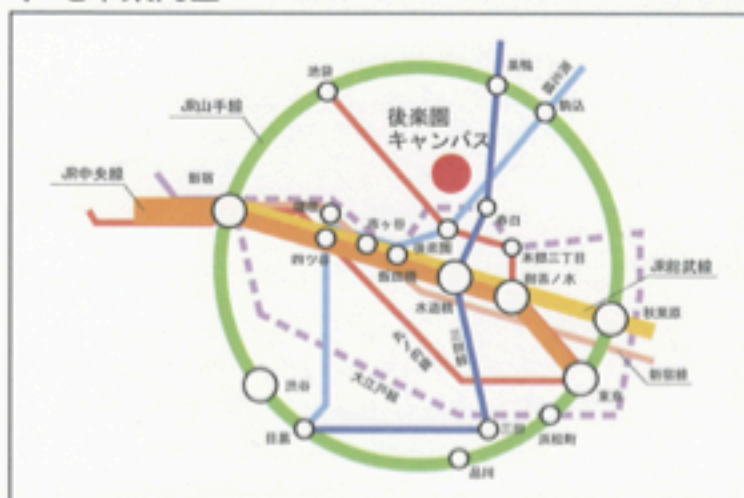
(4) 本大会は日本公認会計士協会のCPE単位認定研修となっております。CPE単位認定をご希望の方は、大会当日に会場受付で所定の手続きをお済ませください。

CPE認定研修承認番号:25-15

開催日	時 間	内 容	単位	研修コード
9月14日 (土)	14:30-16:00	研究グループ報告	2	2103
	16:15-17:15	記念講演会	1	
9月15日 (日)	10:00-11:55	自由論題	2	
	13:10-17:30	統一論題	3	

会場へのアクセス

◆ 電車案内図



◆ 駅より中央大学後楽園キャンパスへの経路図



◆ 学内校舎配置図

(受付は6号館、研究大会会場は5号館および6号館、懇親会会場は5号館です。)

